

7 区 共 通 予 算

区政総務費・戸籍住民基本台帳費では、区役所等庁舎・設備の整備、道路施設等の大規模補修、区役所の各区域にまたがる事業に関する予算を計上しています。

ここでは、それらの主な内容について御紹介します。

<予 算 額>

10,592,478千円 (対前年度比：+7.7%)

<主な事業>

問合せ先:市民文化局庶務課 200-2255 内) 26101

共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化

区役所等庁舎整備の推進 900,472千円

○多摩区役所生田出張所庁舎の建替えや、高津区役所及び宮前区役所の特定天井の改修など、区役所等庁舎の整備を進めます。

○鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区役所新庁舎整備に向けた検討を行います。(新規)

区役所改革の推進 62,106千円

○「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、区域レベルの拠点となる場「ソーシャルデザインセンター」の創出に向けた検討を区ごとに行い、順次モデル実施するとともに、地域レベルの居場所「まちのひろば」の創出に向けた取組を引き続き進めます。

また、これまでの区民会議が担ってきた「区における行政への参加」の機能について、「新しい参加の場」のしくみを構築するため、各区で試行実施の取組を進めます。(拡充)

○地域のことをよく知り、かつ地域をコーディネートする能力や協働のマインドを持つ職員の育成を図ります。

戸籍・住民基本台帳事務等の利便性向上 3,781,282千円

○戸籍・住民票等の証明書のコンビニエンスストアでの取得を推進するなど、市民の利便性向上のため、マイナンバーカードのさらなる普及促進を図ります。(拡充)

○区役所事務サービスシステムの再構築(令和4年1月稼働)と併せて、区役所窓口等における手続きのデジタル化に係る取組を実施します。(新規)



幸区ソーシャル
デザインセンター

問合せ先:建設緑政局庶務課 200-2785 内) 38201

市内道路施設の維持管理・大規模補修 1,385,754千円

○各区の道路等について、適切な維持管理を計画的に実施することにより、道路交通の安全を確保し、市民の快適な生活環境を維持します。

・主要地方道東京大師横浜舗装道補修工事等

公園緑地・街路樹の維持管理 1,632,337千円

○公園や街路樹を適切に維持管理することにより、安全・安心な施設等の利用環境の維持・向上を推進します。

・公園内施設清掃の充実や公園の樹木剪定、施設補修等
・街路樹の剪定や健全度調査等

<予算額>
問合せ先:総務課 201-3121 内) 61110
1,582,053千円

(対前年度比: △0.3%)

<主な事業>
地域資源を活かしたまちづくりの推進
21,475千円

- アメリカンフットボール体験イベント等により、地域のスポーツ資源の魅力を発信します。さらに、「カルツかわさき」や「富士通スタジアム川崎」を活用して、ボッチャをはじめとした障害者スポーツを体験できるイベントを開催するなど、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることに合わせて富士見公園周辺施設を活用してスポーツと触れ合う機会を創出するとともに、総合型地域スポーツクラブと連携して地域交流の場を提供します。
- 東海道川崎宿起立400年を迎える令和5年に向けたロードマップ(平成30年度策定)を踏まえて設立された川崎宿起立400年プロジェクト推進会議を核とし、地域の様々な団体と協働して、歴史・文化資源を活かしたスタンプラリーなどのイベントや取組を行うことにより賑わいを創出するとともに、地元へのさらなる愛着と誇りの醸成を図ります。(拡充)
- 区制50周年を迎える令和4年に向けて、区の地域資源等を活用したイベントの実施等を検討するとともに、記念ロゴ等を作成し、地域全体で区を盛り上げていく機運づくりを進めます。(拡充)


**アメリカンフットボール
体験イベント**
区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進
5,240千円

- 道路への不法投棄やポイ捨てが課題となっている東扇島地区の道路環境改善に向けて、ごみの特に多い中央分離帯の植樹を土系舗装に改良し、ごみの捨てにくい環境づくりを進めます。
- 区の花であるビオラの花苗やひまわりの種子を緑化活動団体等へ配布するとともに、地域住民と協働で、富士見公園の花壇の植栽を行い、区の花・区の木周知や地域緑化による区のイメージアップを図ります。


ビオラの植栽
誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進
4,109千円

- 自宅などの身近な場所での主体的な健康維持・増進活動を支援する映像「ほほえみ元気体操」について、立位版や解説映像を新たに作成し、動画を活用した「新しい生活様式」に対応する健康づくり・介護予防支援を進めます。(拡充)
- 地区カルテや地域包括ケアシステムに関するパンフレット等を活用し、地域における多様な主体と顔の見える関係を築きながら、地域情報や課題を区民と共有するためのワークショップを開催するなど、さまざまな機会を捉えた普及啓発に引き続き取り組み、支え合いの地域づくりを進めます。


**「ほほえみ元気体操」による
地域の健康づくり活動**

地域における子ども・子育て支援の推進

10,338千円

- 保育所、幼稚園、福祉施設等の子育て支援機関からの申請に基づいて、ボランティアによる通訳・翻訳を行い、日本語に不慣れな子どもや保護者を孤立させないための支援を行います。
- 不登校やひきこもりなどの問題を抱える子どもの居場所「こどもサポート旭町」を週4日開所し、子どもの状況に応じた社会参加を促します。併せて保護者相談や子どもの心理的ケアなどを引き続き丁寧に行い、子どもと保護者に寄り添った支援を進めます。
- 日本語に不慣れな小中学生が学校生活や地域生活に適応し、健全で安心な生活を送れるよう、日本語能力の習得や教科の基礎学習の支援を行うとともに、孤立を防ぐための居場所づくりを推進します。

安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上

4,165千円

- 台風災害対応を踏まえた避難所機能の強化を図るとともに、地域防災力の向上を目指し、より実効性の高い避難所開設・運営訓練、津波避難訓練を区民や関係機関等との連携により実施します。また、外国人市民を対象とした多言語通訳者付きの防災講座の実施や風水害避難啓発用多言語チラシを作成します。
- 区民・事業者・行政で構成する区危機管理地域協議会において、地域防災の課題等を検討し災害に強いまちづくりを推進します。また、区災害対策本部の充実、強化を目的として、区職員の災害対応力の向上のための実践的な職員向け訓練・研修を実施します。



川崎区総合防災訓練

交通安全と自転車対策の推進

4,413千円

- 警察、各種交通安全団体などと連携し、交通安全キャンペーン活動を行うとともに、幅広い世代を対象に自転車大会や交通安全教室等を開催し、広く啓発活動を行うことで、交通事故の防止、交通ルールの遵守及びマナー向上を推進します。
- 地域、家庭、学校が一体となり、子どもを交通事故から守るという意識の向上を目的として、川崎区新入学児童「交通安全絵のコンクール」を実施します。区内を走るバスに作品を展示するほか、作品を使用した啓発品を交通安全キャンペーン等で配布します。
- 駅周辺における放置自転車が歩行者の通行の妨げになっているため、小学生の絵画を使用した啓発シートを路面に設置し、放置自転車の減少に向けた環境整備に取り組みます。



交通安全絵のコンクール
金賞作品

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

852,772千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

211,421千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 556-6602 内) 62110

939,802千円

(対前年度比:△0.1%)

<主な事業>

地域資源を活かしたまちづくりの推進

22,836千円

- 貴重な地域資源である夢見ヶ崎動物公園を核として、その周辺で活動する団体や企業など多様な主体との協働による「ゆめみらい交流会」を開催し、地域コミュニティの活性化や魅力向上に向けた取組を進めます。また、区内の鉄道スポットについては、好評だったスタンプラリーイベントを踏まえ、さらなる賑わいを創出します。さらに幸区にゆかりの深い絵本作家のかこさとしさんと区とのつながりを発信することで、区の魅力向上を図ります。
- 市制100周年に向けて、寄附等を活用した梅の植樹により梅林を復活させ、郷土の歴史の継承や地域コミュニティの活性化を区民と協働で取り組む「御幸公園梅香事業」を推進します。
- 「新川崎・創造のもり」での子ども向け科学体験イベントやミュージアム川崎シンフォニーホールでのコンサートなどを開催し、地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進します。また、事業の実施に当たっては、オンライン配信も導入し、より多くの区民に区の魅力を発信します。



鹿島田駅から見える南武線



御幸公園梅香事業

健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

7,396千円

- 地域包括ケアシステム構築に向けた「幸区ご近所支え愛事業」については、「新しい生活様式」を踏まえ部会や講演会を開催し、各町内会・自治会の特性に応じた見守り・支え合いの仕組み作り等を進め、安心して暮らし続けることができるまちの実現を目指します。
- 「保健福祉情報さいわい」、「我が家の食品衛生」、「手洗いハンドブック」や動物愛護小冊子といったパンフレット等の発行、食品衛生に関するポスター展や手洗い講習会・動物愛護教室の開催等を通じ、区民の保健福祉や健康、衛生に対する理解を深めます。
- 健康づくりグループ等の自主活動グループ交流会の実施や活動紹介情報誌の発行により、区民が身近な場所で健康づくり活動に取り組むことを支援します。



ご近所支え愛事業

安心して子育てできるまちづくりの推進

9,565千円

- 「新しい生活様式」の下で多様な保育事業に関する情報提供を行うため、保育施設案内映像を制作・配信するとともに、利用者に対するきめ細やかな相談・支援を実施して待機児童の解消を図ります。(拡充)
- 区内の子ども・子育て支援関係団体の連携強化を図り、地域全体で子育てを支援する環境づくりの取組を進めます。
 - ・子育て情報誌「おこさまっぷさいわい」改訂版の発行
 - ・子育て支援の人材育成を図る「子どもの外遊び・地域人材育成事業」の実施
 - ・「お散歩に行こうね!」、「こども相談窓口のご案内」といった情報誌・リーフレットの発行等



保育施設案内

地域コミュニティ活性化の推進

5,398千円

- 町内会・自治会への加入促進を図るため、加入率の低い若年層や未加入者への調査を行い、効果的な加入促進ツールについて検討します。(拡充)
- 市民活動コーナーについて利用団体による自主的な運営を支援するとともに、団体相互の交流を促進し、区内の市民活動の活性化を図ります。
- 地域のスポーツ施設等の資源を活用し、区民の健康及び体力の保持増進を図るとともに、イベント等を通じた世代間交流やパラスポーツの振興等によるかわさきパラムーブメントの推進を図ります。



市民活動交流イベント

安全で安心に暮らせるまちづくりの推進

8,546千円

- 避難所運営会議が実施する防災訓練の支援等により地域防災力を強化するとともに、「新しい生活様式」に配慮した訓練・研修を通じて職員の災害対応力を向上させ、防災体制の充実を促進します。
 - ・「幸区避難所訓練マニュアル」等を活用した区内全避難所(23か所)における避難所開設・運営訓練の継続実施
 - ・幸区災害対策協議会を通じた関係団体(85団体)相互の連携強化
 - ・住民主体の活発な防災活動を実施している地区(モデル地区)における地区防災計画の策定支援等
- 地域及び関係団体とともに、大規模災害時に必要な対策を検討する協議会について感染予防をしながら実施することで、防災に関する情報収集・共有を図り地域防災力の強化に向けた取組を推進します。
- 交通安全教室の開催や事故防止に向けた啓発活動の実施など、区民の交通安全に関する意識高揚に向けた取組を進めるとともに、地域及び関係団体と連携しながら、防犯や防火などの啓発活動を実施し、安全・安心なまちづくりを推進します。



避難所開設・運営訓練



交通安全教室

区役所サービス向上への取組

721千円

- 「さいわい広報特別号」の発行により区政情報や地域資源等に係る情報を区民へ発信します。
- マイナンバーカード交付窓口における混雑緩和・効率的な対応等により、市民サービスの向上と業務の迅速化及び効率化に向けた継続的な窓口サービス向上に取り組み、区役所サービスの一層の改善を図ります。
- 「区役所改革の基本方針」に基づく効率的・効果的な業務サービス提供に向けた研修等の実施により職員の人材育成を図り、地域の状況に合わせた満足度の高い区民サービスを提供します。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

557,064千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

60,132千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



中原区

<予算額>

問合せ先:総務課 744-3122 内) 63110

1,292,602千円 (対前年度比: +6.1%)

<主な事業>

地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

10,569千円

- 武蔵小杉駅周辺地域において、コミュニティ形成の取組を支援します。また、令和3年度にリニューアル予定の「こすぎコアパーク」など、駅前において「居心地が良く歩きたくなるまちなか」空間を創出するための取組や、持続可能な実施体制づくりに向けた検討を行います。
- 地域メディアと連携した取組「なかはらメディアネットワーク」において、ケーブルテレビやFMラジオによる地域情報番組の制作、地域新聞への記事掲載により、区の魅力や行政情報を発信します。また、令和4年に区制50周年を迎えることから周知に向けた記念ロゴと記念品を製作します。(拡充)
- 商店街を地域の情報交換や交流の場として、店舗の特徴を活かした各種教室やテーマ性を意識したイベントの開催など、地域コミュニティの活性化に向けた取組を推進します。



武蔵小杉駅前で実施した道路を活用した社会実験

安全・安心なまちづくりの推進

5,153千円

- 防犯パトロール実践講座の実施、防犯パトロール資器材の貸し出し、子ども自身が犯罪から身を守る力を養うための「自分を守る安全マップ」づくり等により、地域防犯活動の活性化に向けた取組を推進します。また、区役所の公用車に青色回転灯を装着したパトロール車を従来の2台から15台へと大幅に増やし、区役所職員総ぐるみによる犯罪抑止に向けた自主防犯パトロールを実施します。(拡充)
- 区の総合的な防災力向上のため、地域の担い手の育成(出前講座・区総合防災訓練、避難所運営会議や自主防災組織の活動支援)、地域連携力の強化(武蔵小杉駅エリアの帰宅困難者対策訓練)、区本部の機能強化(職員研修や区本部運営訓練)に向けた取組を推進します。
- 自転車やバイクに関する交通事故を防止するため、スクエアドストレート方式(スタントマンが交通事故を再現)による交通安全教室を実施します。
- 区内の駅前周辺等で放置自転車対策の取組を推進します。



青色防犯灯による自主防犯パトロール車



中原区総合防災訓練

区民と協働したこども支援の推進

9,509千円

- 「中原区子育て情報ガイドブック」、「子育て情報等紹介リーフレット」、「中原区周辺子育て施設マップ」、ホームページ等により多種多様な子育て情報を効果的に提供します。

- 親子の仲間づくりや子育てしやすい地域のコミュニティづくりを推進するため、子育てサロン(15か所)の運営を支援します。
- 区内の子どもに関わる団体・機関による情報交換、子育て情報紙「なかはら子ネット通信」の発行、交流事業「なかはら子ども未来フェスタ」や子ども支援事業「夏休み親子ものづくり体験」を開催し、地域で子育てを支えるまちづくりを推進します。



なかはら子ども未来フェスタ
展示作品作成の準備風景

人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

2,158千円

- 地域包括ケアシステムの浸透や地域交流のきっかけづくりに向けた取組を推進するとともに、障害のある人へ合理的に配慮するため、区の主催事業への手話通訳者等の派遣を実施します。
- 区内で福祉や健康に関わる活動を行う団体やボランティアなどが集う「なかはら福祉健康まつり」を開催し、福祉と健康への理解とともに参加団体や区民の交流を深めます。

多様な地域資源を活用したまちづくりの推進

13,302千円

- 区内に拠点を置く「かわさきスポーツパートナー」と連携し、サッカー教室、バレーボール教室、バスケットボール教室等の開催により、スポーツを通じた地域の活性化を推進します。
- 市民が気軽に運動できる機会を提供するため、ニュースポーツやパラスポーツなどを誰でも・簡単に・すぐできる体験会「(仮称)中原スポーツまつり」を開催します。(拡充)
- 区内の中学校・高等学校の生徒の運営参加による「青少年吹奏楽コンサート」や、地域で活動するアマチュアミュージシャン等が出演し、ボランティアスタッフが企画・運営する音楽ライブ「In Unity」を開催し、音楽を通じた地域の活性化を推進します。
- 地域における地球温暖化防止等に向けた取組の普及啓発を推進するため、学校・企業・地域等と連携し、区内小学校での「子ども環境学習」や「エコ暮らしこフェア」等を開催します。



川崎フロンターレによる
サッカー教室

区役所サービスの環境改善

1,988千円

- 中原区における人口増加に伴う行政需要に対応した適切な区役所サービスの提供に向けて、窓口混雑緩和対策やサービス向上研修、庁舎内の環境改善の取組のほか、区役所を訪れる誰もが気軽に集い憩うことのできる空間整備に向けた取組を推進します。また、来庁者向けの手指消毒液の設置など新型コロナウイルス感染を予防するため、「新しい生活様式」に対応する取組も推進します。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

486,210千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

472,645千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 861-3120 内) 64110

980,514千円 (対前年度比: +10.1%)

<主な事業>

地域資源を活用した魅力あるまちづくりの推進

12,860千円

- 高津大山街道周辺の歴史的・文化的な資源を保全・活用し、魅力的な空間創造と地域活性化に向けて、住民の交流促進や、地域の歴史への関心喚起につながるイベント等を開催します。
- 橘地区の農的資源を活用して地域の魅力を高め、地域の活性化に結びつけるため、ファーマーズマーケット「高津 さんの市」や農業体験イベントを実施します。
- 区内の歴史・文化などの地域資源のネットワーク化を図り、回遊性のある魅力的なまちづくりを進めます。また、広告収入を活用し、公共サインの適切な維持・更新を行います。
- 二ヶ領用水久地円筒分水の環境を維持するため、区民との協働による清掃活動等を継続して実施します。また、芝生の植替え等、身近な憩いの場としての空間整備を推進します。



市民活動団体を中心とした
久地円筒分水の維持管理活動

多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進

9,559千円

- スポーツへの参加促進やダンスイベントの開催を通じ、区民の交流機会を創出し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化やつながりづくりを推進します。また、障害者スポーツ体験イベント等を通じて、障害者スポーツの普及とかわさきパラムーブメントの啓発を進めます。
- 町内会・自治会の役割や活動を区民に広報するとともに、町内会・自治会の抱える課題の解決に資するワークショップ等を実施することにより、地域における「顔の見える関係づくり」を支援します。
- 市民活動・まちづくり活動に必要な情報や活動の場を各団体へ提供することにより、その活動を支援します。
- 多文化交流事業や講演会の開催を通じ、外国人市民を含む区民の相互理解を図り、支え合いながら共に暮らす多文化共生のまちづくりを推進します。
- 市が国から河川占用しているかすみ堤について、地域コミュニティ活性化のため、地域住民との協働により保全・活用を図ります。



障害の有無を問わず誰もが
楽しめるダンスイベント

総合的な子ども・子育て支援の推進

3,776千円

- 誰もが安心して子育てができるよう、各種子育て支援講座を実施するほか、一部に英語・日本語ルビを付した子育て情報ガイドブックを区民と協働で発行し、子育て情報を発信します。
- 関係機関が連携し、地域で子育てしやすいまちづくりを推進するとともに、子育てを支えているグループ等の活動を支援して、地域の子育て力の向上を図ります。

すこやか・支え合いのまちづくりの推進

2,367千円

- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅医療の普及啓発及び地域社会全体で高齢者を見守る体制づくりを進めます。また、区内マンションにおける住民間や地域との「つながりづくり」の取組支援や、交流会を通じた好事例の共有を通じて、良好なコミュニティ形成を推進します。
- 「高津公園体操」の普及促進や健康づくり活動団体の交流を図り、介護予防・健康寿命の延伸や多世代交流、見守り活動など、共に支え合う地域づくりにつなげます。



「高津公園体操」普及のため各種健診などで配付しているマップ

安全・安心なまちづくりの推進

10,375千円

- 住民相互の連携力・防災力を強化するため、高津地区・橘地区の防災訓練を継続実施します。また、避難所運営体制の強化を図るため、避難所開設訓練を継続実施するとともに、風水害時における円滑な避難所運営に必要な物品等を充実させます。さらに、区民の防災意識を喚起するため、参加者自らが身近な地域の減災マップを作成するワークショップを開催します。
- 道路冠水や床下浸水が発生する恐れが高い地域に「土のうステーション」を設置し、地域住民が容易に土のうを入手し、災害に備えることができる体制を整備します。
- ペットの飼い主等に対し、防災意識を高め、災害への備えを促すため、必要な備蓄品や発災時の対応に関する講習会を実施するほか、防災訓練会場での展示等を行います。
- 交通安全意識向上と事故防止のため、多世代向け交通安全教室等の啓発活動を実施します。



ペットとともに災害に備え、安全に避難するための備蓄品の展示

区民との協働で進める環境まちづくりの推進

7,570千円

- 「エコシティたかつ」推進方針に基づき、地球温暖化適応策及び生物多様性保全として、学校ビオトープを活用した環境学習・雨水循環の取組の推進、区内緑地における保水力向上や自然の賑わいの回復に向けた活動等を実施するとともに、区民への普及啓発を行います。また、溝口周辺がモデル地区となっている市の脱炭素戦略に基づく取組「脱炭素アクションみぞのくち」について、環境学習機会の活用などにより区民への周知広報を行います。(拡充)
- 区民との協働により設置した花壇等の維持管理を行い、花と緑のまちづくりを推進します。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

413,742千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

45,652千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



宮 前 区

<予 算 額>

問合せ先:総務課 856-3122 内) 65110

836,866千円

(対前年度比:△16.2%)

<主な事業>

多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

9,172千円

- 区内を中心に活動する和太鼓団体による演奏のほか、地域に伝わる民俗芸能の舞台を取り入れ、「響け!みやまえ太鼓ミーティング」を開催し、文化・伝統の再認識と、保存・継承に向けた担い手の発掘と育成につなげます。
- 様々な世代がスポーツや健康づくりに親しめる環境づくりとパラスポーツの普及啓発のため、地域の特性を生かし、区民を対象とした事業を進めます。
- 歴史的遺産や農などの地域資源を活用したウォーキングイベントの実施や、宮前区農産物直売所ガイド&マップ、宮前歴史ガイド等による情報発信を行い、多様な人材の参画による地域づくりを促します。
- テレビ番組とインターネットでの動画配信により、区内の様々な魅力・情報を発信します。映像を通じて、身近でより伝わる広報を目指します。



ポールウォーキング&
サッカー観戦ツアー

地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

13,557千円

- 町内会・自治会のエリアマップを転入時に配布するほか、子育て世代向けリーフレットを地域のイベントで配布するなど、町内会・自治会活動への理解と加入の促進に取り組みます。
- 地域包括ケアシステムの実現に向けて、様々な地域活動の情報を町名ごとに掲載し、身近な暮らしの中でのつながりづくりを応援する宮前区ご近所情報サイト「みやまえご近助さん」を運営します。併せて、子育て世代の「ご近助コンシェルジュ」の活動を通じて、町内会・自治会をはじめとする地域活動と子育て世代の相互理解を促進し、多世代交流の場の創出や多様な主体の連携促進に取り組みます。(拡充)
- 宮前区まちづくり協議会を通して市民活動団体を支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ることで、区民主体のまちづくりを推進します。
- 区民の主体的な花壇管理、整備を推進し、地域コミュニティの形成支援及び区のイメージアップを図ります。また、講座や交流会を開催し、緑化活動団体の活性化に向けた人材育成と技術支援を行います。
- 「夏休み子どもあそびランド」を実施し、子どもたちが「あそび」を通じて地域住民と交流を図り、地域を「ふるさと」として実感できる地域形成の推進を図ります。



宮前区ご近所情報サイト「みやまえご近助さん」
<https://www.miyamae-gokinjosan.com/>

心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

6,389千円

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、多様な主体と連携した地域のつながりづくりへの支援、在宅介護に関する普及啓発の実施、区民の「意識づくり」に向けた広報などを行います。
- 地域の大学と連携して行った、取組や医療・福祉に関する住民意識調査の成果を、地区の特性に応じた地域づくりや地域医療・福祉の向上の支援につなげていきます。
- 心のバリアフリーを目的とした「しあわせを呼ぶコンサート」を開催し、障害者の相互理解、自立支援・社会参画の拡大を目指します。

地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

8,642千円

- 情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」や、ホームページ、ソーシャルメディアなど多様な媒体を活用し、障害のある方や外国人住民を含むすべての区民が、地域の中で安心して子育てができるよう支援します。
- こどもサポート南野川における様々な課題を持つ子どもたちの居場所づくりや生活・学習支援など、きめ細やかな子ども・子育て支援を行います。
- 地域住民が主体となって身近な公園等を活用して行われる「冒険遊び場」活動を支援し、次世代育成の場をつくることで、子どもの健やかな成長と地域コミュニティの活性化を目指します。



みやまえ子育てガイドとことこ

区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

5,675千円

- 地域防犯団体のパトロール活動や落書き消し活動の支援、交通安全教室の実施等により、安全で安心して暮らせるまちを目指します。
- 防災フェアを「ご近助ピクニック」と同時開催し、町内会・自治会活動及び防災意識の普及啓発を図ります。また、防災推進員養成研修を実施し、地域人材の育成を行います。
- 宮前区地域防災連絡会議の開催や、災害用簡易エアマットの配置による避難所の環境整備等を行い、地域防災力の向上を図ります。



交通安全教室

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

381,136千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

71,331千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。

<予算額>

問合せ先:総務課 935-3122 内) 66110

1,256,164千円

(対前年度比: +10.1%)

<主な事業>

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

22,874千円

○多様な主体と協働し、まちの魅力の発信とイメージの向上を図り、訪れる人も住む人も楽しめる「ピクニックタウン多摩区」の取組を進めます。

○「たま音楽祭」や、「アトリウムコンサート」等を開催し、音楽を通じて多摩区の魅力発信とイメージアップを推進します。

○スポーツに親しむ機会の提供と、優れたスポーツ選手との交流を通じて地域のスポーツ活動を促進するため「多摩区スポーツフェスタ」を開催します。

○登戸土地区画整理事業の進展に伴い大きく変わりゆく登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の状況を踏まえ、まちの賑わい継承の手法の一つとして、AR（拡張現実）を活用した取組を実施し、まちの回遊性の更なる向上を図ります。

○令和4年度に迎える区制50周年を、地域と行政が一体となってお祝いする機運を醸成するため、記念ロゴマークの作成などの取組を進めます。(新規)



たま音楽祭

災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

4,436千円

○地域防災力向上のため、市民の防災意識の醸成、自主防災組織の育成等を目的とした防災フェア・防災講座等の開催や、防災に対する地域人材育成の促進に加え、次世代の防災リーダーを発掘・育成するため、子育て世代等も興味を持って参加できる訓練を実施します。

○区の危機管理能力を向上させるため、職員を対象とした防災基礎研修を実施します。また、区本部や避難所において迅速かつ的確な運営を実施するための物品を整備します。

○地域、警察及び消防と連携して地域へのパトロール活動支援や防犯・交通安全対策を併せた啓発の取組を実施し、安全で安心できるまちづくりを進めます。

○スタントマンが交通事故を再現するスケアードストレート方式の交通安全教室の開催や、小学生から募集した交通安全標語による啓発活動により、交通安全意識の定着を図ります。

たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

8,899千円

○発達に不安を抱えている親子に、専門職が集団遊びや個別面接を通してかかわることで、育児不安の軽減や子どもの発達を促す支援を行います。

○子ども・子育て支援団体や関係機関によるネットワーク会議を開催し、地域全体で子育てを支援する取組を進めます。

○公園や広場など身近にある自然環境の中で子どもの外遊びと地域との交流を推進し、子どもの創造力と社会性を培います。

○乳児の親子を対象に、臨床心理士による子育てセミナーを開催し、語りかけやスキンシップ、保育士等の専門職による親子遊びと成長・発達との繋がりを学ぶことで、健やかな育ちを支援します。

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進 3,730千円

- 誰もがすこやかに安心して暮らせる地域を目指し、住民、地域の団体、関係機関等と課題を共有し、課題解決に向けた取組を住民とともにさらに推進します。地域包括ケアシステムや地域福祉に関心を持つ住民の層を広げるために、福祉情報や地域福祉活動に関する広報の充実を図ります。(拡充)
- 区内小学校での認知症サポーター養成講座や中学校での認知症講演会の開催を継続し、認知症への理解を深め、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。
- 多摩区総合庁舎アトリウムを利用し、区内の障害者団体や作業所等の活動紹介や作品展示、相談先の紹介等を行い、障害福祉への理解と関心を促進します。
- 「バリアフリー わたしとあなたとこの街と」をテーマに開催している「多摩ふれあいまつり」において、新型コロナウイルス感染症の影響で延期になった20周年記念のコンサートを実施します。



中学校での認知症講演会の様子

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進 12,550千円

- 区内に立地するなど多摩区にゆかりのある3大学と地域との交流・連携を図ることを目的として、大学生の地域参加を促進するプログラム「たまなび」や「多摩区3大学コンサート」などを実施します。また、地域の課題解決に向けた取組を3大学と連携して実施します。
- 町内会・自治会への加入促進のためのリーフレットの作成や講演会等の開催により、町内会・自治会を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 市民活動団体等が自主的、主体的に実施する活動を支援するため、「磨けば光る多摩事業」において提案を募集・選定し、区の事業として協働で実施します。
- 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を推進するため、地域で活動する団体等からの相談受付や活動支援に向けたコーディネート等を行うソーシャルデザインセンターについて、区民主体で効果的に運営するための支援を行い、市民創発による地域課題の解決に向けた取組を進めます。



多摩区ソーシャルデザインセンター

区の機能強化に向けた取組 5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修 526,520千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理 180,287千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



ピクニックタウン多摩区

水と緑と学びのまち
ク多摩区



麻 生 区

<予 算 額>

問合せ先:総務課 965-5106 内) 67110

961,687千円 (対前年度比: +4.9%)

<主な事業>

芸術・文化のまちづくりの推進

16,044千円

- 区内に集積する芸術関係資源や人材等を活かしながら、市民、事業者、教育機関、行政等が連携して「芸術・文化のまち麻生」を推進するため、団体間の連携や情報共有・発信、交流を促進する「あさお芸術・文化交流カフェ」全体交流会の開催や、誰もが芸術・文化を楽しむための環境づくりに取り組みます。
- 地域の文化団体や観光関係団体等と連携して、麻生区特有の伝統・伝承文化の魅力を活かした事業を実施します。



kirara@アートしんゆり

農と環境を活かしたまちづくりの推進

6,430千円

- 区内の大学や農業事業者等と連携し、農業資源や緑地等の環境資源を活用して地域交流を推進します。黒川地域や岡上地域において、地域と連携した収穫体験等のイベントを実施するとともに、地域活性化の推進につながる取組を支援します。
- 区民一人ひとりが取り組める身近なエコ活動を啓発し、地球温暖化対策、自然エネルギーについての講座等を開催します。



野菜の収穫体験

高齢化への対応とすこやか・支え合いまちづくりの推進

3,884千円

- 地域包括ケアシステムの推進に向け、多様な主体との連携や地域資源を活用し、各地域の実情に合わせた支え合い活動の展開を進めます。区内の大学と連携し、多くの学生や区民が今後の担い手となるよう、地域活動に参加するきっかけとなる取組を実施します。
- 健康づくりや閉じこもり予防等のため、公園等を拠点にした健康ウォーク・健康体操及び地域活動の活性化と新たな拠点づくりへの支援、あさおウォーキングマップの普及を行います。



健康ウォーク

安全・安心まちづくりの推進

6,840千円

- 多様な主体の参加による総合防災訓練を引き続き実施すると共に、誰一人取り残さない災害に強いまちづくりに向け、自助の取組の普及・啓発に関する取組を進め、地域に根差した、実践的かつ効果的な自主防災訓練を促進します。(拡充)
- 区の災害対応力の向上を図るため区本部運営訓練等の実施、避難所の安定運営に資する避難所運営会議への活動支援を推進します。
- 交通安全・防犯の関連団体等と連携し、街頭啓発活動、安全パトロール実施組織への支援、研修会、スクアードストレート方式による交通安全教育、麻生区メール配信システムの運用等を行います。



麻生区総合防災訓練

総合的な子ども・子育て支援の推進

5,560千円

- 子育てに役立つ講座や親子で楽しむイベントの開催、子育てサークルにボランティアを派遣し、活動を支援する子育て人材バンク事業等を行います。
- 区内の保育園等子育て関連機関や民間企業と連携し、地域における子育て支援を推進します。
- 麻生区・6大学公学協働ネットワークとの連携により、大学の施設や人材の協力を得ながら、映画づくりや鶴見川での体験学習、コンサートなど、様々な子ども・子育て支援事業を実施します。
- 区内の子育て支援関連施設、団体等と行政が一堂に会し、子育て世代を対象にした子育てフェスタを開催し、地域全体で子育てを支えるまちづくりを推進します。



交流コンサート

地域資源を活用したコミュニティづくりの推進

18,461千円

- 市民組織が運営する「麻生市民交流館やまゆり」を区の市民活動支援拠点として位置づけ、市民活動の場や情報等を提供し、市民活動の一層の推進を図ります。
- 地域の担い手である町内会・自治会の活動を支援し、地域住民のつながりや地域の課題解決力の強化を図るとともに、地域コミュニティの活性化に取り組みます。
- 地域人材を発掘・育成し、市民活動・地域活動へつなげるしくみづくりを進めます。
- 川崎フロンターレ麻生グラウンドをはじめとした区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業を実施するほか、「あさおスポーツフェスティバル」を通じて、区内で行われる各種スポーツ大会を支援します。
- スポーツ・健康ロードの活用や総合型地域スポーツクラブ運営支援事業等を実施し、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。
- 総合型地域スポーツクラブやスポーツセンターにおけるパラスポーツ体験・教室開催の支援等を実施し、かわさきパラムーブメントを推進します。



「地域デビュー」の相談窓口



川崎フロンターレとの連携イベント

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

499,193千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

110,730千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。

上下水道局

<予算額>

問合せ先:財務課 200-3104 内) 45403

158,717,244千円

(対前年度比: +3.9%)

<主な事業>

安定給水の確保と安全性の向上

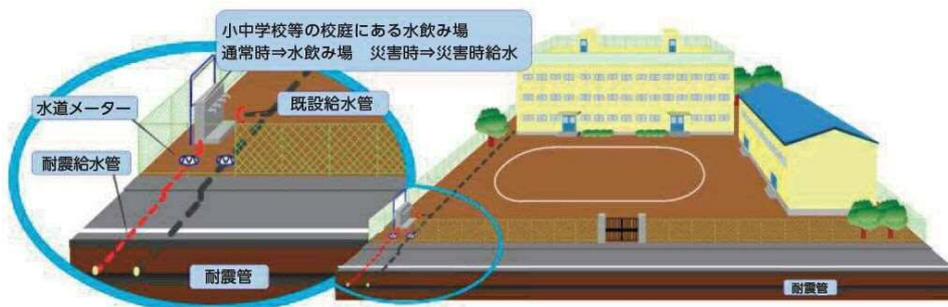
水道施設・管路の更新・耐震化事業の推進

- 地震発生時の管路被害を抑制するため、市内の老朽化した管路や市立小中学校等の避難所への供給ルートとなる管路などを耐震管で更新します。(更新延長約40km)
- 応急給水拠点の利便性を高め、より迅速な応急給水の実現を図るため、供給ルートとなる管路の耐震化が完了した市立小中学校の水飲み場と配水池・配水塔を活用し、開設作業が不要な応急給水拠点の整備を計画的に進めます。
- 基幹管路の将来における更新や、漏水事故・維持管理等への対応強化のため、基幹管路の二重化・ネットワーク化を進めます。
- 黒川高区配水池、千代ヶ丘配水塔2号塔及び長沢浄水場排水処理施設において、施設の更新・耐震化を進めます。

13,714,394千円



耐震管布設工事



開設不要な応急給水拠点の設置



基幹管路のネットワーク化(イメージ図)



長沢浄水場排水処理施設

工業用水道施設の整備事業の推進

1,485,896千円

- 老朽化した水江町の配水管(3号配水支管)などの更新を進めます。
- 水道との共用施設である長沢浄水場排水処理施設の更新・耐震化を進めます。

下水道による良好な循環機能の形成

防災・減災、国土強靱化のための浸水対策・地震対策事業の推進

5, 485, 201千円

- 令和元年東日本台風の被害を踏まえ、中長期対策の具体化に向けた取組を推進します。
- 浸水シミュレーション等に基づく効果的な浸水対策として、三沢川地区、土橋地区及び京町・渡田地区の対策を推進するとともに、その他の重点化地区の対策について検討を進めます。
- 局地的な浸水被害が発生している箇所において、地域特性を踏まえた対策を推進します。
- 想定しうる最大規模の降雨に対し、地下街から人々を安全に避難させる取組（川崎駅東口周辺地区）について、令和3年度中の運用開始に向け、関係機関との調整を推進します。
- 川崎駅以北の地域において、被災時にも機能確保が必要となる避難所や重要な医療機関等と水処理センターを結ぶ管きよなど、重要な管きよの耐震化を推進します。
- 大島ポンプ場などにおいて、耐震化工事を推進します。
- 麻生～等々力水処理センター間において、耐震性を有する管きよによる汚泥圧送管の二条化を推進します。



雨水管布設工事

合流式下水道改善事業の推進

2, 343, 610千円

- 下水道法施行令に基づき、令和5年度までに対策を完了することが義務付けられている合流式下水道改善事業について、雨天時に未処理下水が公共水域に放流されることを削減するため、六郷遮集幹線の整備、大師河原ポンプ場の再構築に併せた施設の改造を推進します。



六郷遮集幹線

高度処理事業の推進

5, 275, 791千円

- 下水道法に基づき神奈川県が策定した「東京湾流域別下水道整備総合計画」において、東京湾流域の各都市が取り組んでいる令和6年度までの水質目標の達成に向け、等々力水処理センターの高度処理施設（流量調整池、脱窒ろ過池、反応タンク）の整備を推進します。



脱窒ろ過池工事

下水道の管きよ・施設の適切な維持管理と老朽化対策及び未普及解消事業の推進

5, 951, 642千円

- アセットマネジメントによる下水道施設の効率的な管理に取り組みます。
- 老朽管が多い入江崎処理区において、老朽管の布設替えや更生工法による再整備を推進します。
- 渡田ポンプ場や大師河原ポンプ場における施設の再構築を推進します。
- 水処理センター・ポンプ場などの各施設における機械・電気設備の長寿命化対策を推進します。
- 河川区域など、下水道整備が困難な地域において、関係者と協議調整を進め、未普及地域の解消に取り組みます。

交 通 局

<予 算 額>

問合せ先: 200-3203 内) 47301

11,623,267千円

(対前年度比: △7.5%)

<主な事業>

市バスの輸送サービスの充実

安全な輸送サービスの確保

39,973千円

○交通局の全職員が一丸となり安全管理体制を構築・改善する「運輸安全マネジメント」の取組を推進し、輸送の安全性の向上に取り組みます。

- ・運転手一人ひとりが、バス車両の死角や内輪差等を実際に確認し、安全に対する意識・技術の向上を図る運転手実技研修の実施
- ・ドライブレコーダーの映像を活用した安全運転意識の向上及び事故の要因分析による再発防止の取組の実施
- ・自転車等駐車場に設置されている自転車とバスの接触事故に係る注意喚起看板の更新



運転手実技研修の様子

市バスネットワークの推進

8,879千円

○事業環境の変化に的確に対応するため、利用動向に合わせたダイヤ改正などを実施します。

お客様サービスの推進

10,465千円

- 添乗観察及びドライブレコーダーを活用し、その結果に基づく改善指導を行い、お客様サービスの向上に取り組みます。
- 外部講師による運転手接客研修を行い、サービス業としての心構え、接客事例などを学習することで、接客サービスの向上に取り組みます。

事業基盤の強化に向けた取組の推進

223,842千円

- 全国的にバス運転手が不足しているバス事業を取り巻く状況を踏まえ、大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けて運転手（養成枠）の採用選考を推進します。
- 運転手・整備員の計画的な採用に向けて、積極的な広報や多様な採用選考等を実施します。
- 上平間営業所旧整備場棟の解体工事を実施します。

営業所の管理委託

2,320,659千円

○上平間営業所及び井田営業所の管理委託体制を継続し、コスト削減やサービス水準の維持・向上を図ります。

バス利用環境の充実・移動空間の快適化

1, 729, 226千円

○バス車両を計画的に更新します。また、市の脱炭素戦略の取組を踏まえ、各種支援を活用し、環境に配慮したハイブリッドバスを導入します。

・更新予定車両数 16両

○お客様への快適なバス待ち空間の提供に向けて、バス停留所施設（標識、停留所上屋等）を計画的に更新します。

・停留所上屋 8基、照明付停留所標識 19基、
二面式停留所標識 20基

○安全で清潔なバス停留所施設を提供するため、定期的に、施設の清掃や点検・修繕などを実施します。

○市バスを安心してご利用いただけるよう、引き続きバス車内での新型コロナウイルス感染防止等に取り組みます。

・運行後の車両のつり革や手すり、降車合図ボタンなどの消毒の実施

・走行中の窓開けや、起終点における扉を開けての車内換気の実施

・運転手を含めた営業所職員へのマスク配布及び着用、手洗い、うがい、手指消毒の徹底



停留所上屋

地域貢献の推進

3, 841千円

○市バスイメージアップ及び地域貢献のため、市内小学校児童による絵画作品を展示したギャラリーバスを運行します。



ギャラリーバスの車内



経営計画の推進

3, 652千円

○事業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、市バス輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、「川崎市バス事業 経営戦略プログラム」後期4年間の計画策定を行います。

職員（運転手等）の健康管理の徹底

21, 271千円

○運転中の心臓疾患、大血管疾患及び脳血管疾患の発症を予防し、疾病の早期発見・治療につなげるため、心臓疾患・大血管疾患検査及び脳健診を実施します。また、定期健康診断の受診を徹底させ、職員の健康保持・増進を図ります。

○睡眠時無呼吸症候群（SAS）のスクリーニング検査を計画的に実施します。

病 院 局

<予 算 額>

問合せ先:経営企画室 200-3855 内) 70520

44,996,326千円 (対前年度比: +8.3%)

<主な事業>

信頼される市立病院の運営

新型コロナウイルス感染症への対応

公立病院の責務として、神奈川モデルにおける役割(高度医療機関あるいは重点医療機関)を積極的に果たしていくため、必要な医療従事者や病床、資機材等を確保しながら、院内感染防止対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症患者の受入れに対応します。



医療の質の向上と体制の整備

63,156千円

- 川崎病院におけるリハビリ提供体制を強化し、リハビリの早期介入と充実を図り、入院患者のADL(日常生活動作能力)の維持・回復による円滑な在宅復帰を支援するとともに、地域包括ケアシステム推進の一翼を担います。
- 薬物療法の有効性・安全性の向上や、医師・看護師等のタスクシフティングを推進するため、川崎病院及び井田病院において病棟への薬剤師の配置を進めます。

経営健全化の推進

274,572千円

- 公立病院としての使命と役割を果たし、市民から信頼される安全で安心な医療サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、公立病院改革プランに位置付ける中期経営計画を改定し、更なる医療の質の向上と経営の健全化に取り組みます。

川崎病院の運営

13,189,626千円

- 救急搬送患者(特に三次救急)の受入れや、小児・周産期医療等を継続的かつ安定的に提供するため、市の基幹病院として高度急性期医療を着実に担う体制を確保するとともに、今後の市内における人口増や高齢化の進展に伴う救急等医療需要の増加に対応します。

- 川崎病院医療機能再編整備を進めます。

既存棟の地下1階に集中的に設置されているエネルギー設備を更新していくため、エネルギー棟・給水ポンプ棟の新築工事に着手します。(令和4年度完成予定)

また、救急救命センター棟の新築・既存棟の改修は、令和4年度中の着工を目指し、実施設計を進めます。



配置図

○高齢化により増加している認知症患者やその家族を医療の面から支援するため、認知症に関する医療体制の拡充や介護・生活相談体制の整備に取り組みます。専門医による認知症早期診断・治療開始とともに、総合病院としての強みを生かして、認知機能障害のある患者の心身をトータルにケアする診療機能の更なる強化を図ります。



神奈川県
「認知症の人と家族を支えるマーク」

井田病院の運営

○南部地域の中核病院・地域がん診療連携拠点病院として、増大するがん等の成人疾患医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、緩和ケア医療などを提供します。また、地域包括ケア病棟の活用など回復期機能の充実や、地域医療機関との連携による機能分化の推進、在宅復帰・在宅療養支援の充実を図ります。

5, 911, 762千円



井田病院



大規模地震時医療活動訓練

○令和元年東日本台風の被害状況を踏まえ、浸水想定区域外の高台に立地する水害に強い災害協力病院として、引き続き災害拠点病院と連携した災害訓練の実施や災害備蓄の確保など、災害医療機能の充実強化を図ります。

多摩病院の運営管理

○学校法人聖マリアンナ医科大学を指定管理者として、小児医療を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療などを提供します。

893, 413千円

○災害拠点病院としての役割を担うとともに、地域医療支援病院として地域のかかりつけ医などと連携を進めることで、地域全体の医療供給体制の向上を図ります。



多摩病院

○開院から10年以上を経過したことによる施設・設備の老朽化に対し、長寿命化に向けた維持補修を実施します。

特別会計予算

本市の予算は、一般会計のほかに、主に特定の収入をもって特定の事業を行う場合で、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に特別会計を設けています。ここでは、特別会計で実施している事業を紹介します。

競輪事業

22,089,520千円

【所管局：経済労働局】

- 包括業務委託による民間ノウハウを活用した効果的・効率的な事業運営を行うなど、持続可能な競輪事業の運営に努め、市財政への継続的な貢献を図ります。

- ・年12回53日 開催予定

川崎競輪イメージキャラクター
「九ちゃん」



卸売市場事業

2,220,131千円

【所管局：経済労働局】

- 市場使用料等により、「川崎市卸売市場経営プラン改訂版」に基づく施策の推進や、屋上防水工事、照明設備改修工事等の施設整備を行います。

- ・北部市場（中央卸売市場）、南部市場（地方卸売市場）

国民健康保険事業

120,558,981千円

【所管局：健康福祉局】

- 他の健康保険に加入していない方等を被保険者とし、病気やケガをした場合に安心して医療を受けることができるよう、神奈川県と共同で運営します。

- ・被保険者数（年平均） 252,000人

母子父子寡婦福祉資金貸付事業

239,113千円

【所管局：こども未来局】

- 母子父子寡婦世帯の経済的自立を支援するため修学資金等の貸付けを行います。

後期高齢者医療事業

17,350,168千円

【所管局：健康福祉局】

- 75歳以上の高齢者等を被保険者とし、病気やケガをした場合に安心して医療を受けることができるよう、神奈川県後期高齢者医療広域連合と連携して実施します。

- ・被保険者数（年平均） 151,416人

公害健康被害補償事業

77,720千円

【所管局：健康福祉局】

- 一般財団法人川崎市公害対策協力財団からの拠出金を主な財源として、大気汚染の影響による健康被害に係る補償を行うとともに、被害者及びその遺族の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として、必要な事業を行います。

- ・被認定者数（年平均） 1,161人

介護保険事業

103,694,540千円

【所管局：健康福祉局】

- 要介護認定者等の介護サービス利用に係る保険給付等を行います。
- ・第1号被保険者数（年平均） 307,505人



港湾整備事業

3,839,628千円

【所管局：港湾局】

- 港湾施設使用料や財産収入等により、上屋、荷役機械置場、コンテナターミナル等の港湾施設の整備及び管理運営を行います。
- 東扇島堀込部の土地造成事業を推進し、海面埋立に必要な護岸等の整備を実施します。

勤労者福祉共済事業

110,486千円

【所管局：経済労働局】

- 勤労者福祉共済の会員からの掛金収入等により、給付や福利厚生事業等を行います。
- ・加入者数（年平均） 12,054人



墓地整備事業

507,504千円

【所管局：建設緑政局】

- 墓地使用料等により、墓地（緑ヶ丘霊園・早野聖地公園）の整備を実施します。
- ・緑ヶ丘霊園小区画一般墓所（414か所）の整備等
- ・早野聖地公園次期整備区域の造成工事等

生田緑地ゴルフ場事業

511,994千円

【所管局：建設緑政局】

- 利用料収入により生田緑地ゴルフ場（多摩区）の整備・管理を実施します。
- ・防球ネット改修工事



生田緑地ゴルフ場

公共用地先行取得等事業

1,604,774千円

【所管局：財政局】

- 将来、公園や道路などの公共事業に供する用地の先行取得、及び先行取得した用地の維持管理を行い、円滑な事業の実施を図ります。

公債管理

195,234,060千円

【所管局：財政局】

- 川崎市債の発行・償還（元金の償還及び利子の支払い）を行います。
- 将来の元金償還に備え、減債基金への積立を行います。